

宝生流教授囑託会 高岡支部

五十周年記念大会

とき 平成三十一年二月十七日(日)

午前十時始

ところ 高岡市青年の家 能舞台

ご挨拶

向春の候 皆々様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

宝生流教授囑託会高岡支部が昭和四十五年に発足し、今年で五十周年を迎えることができました。

これは発足以来 ひとえに宝生流教授囑託会本部・諸先生方のご指導・ご支援並びに高岡支部会員諸氏のご理解・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この度、五十周年記念大会として、宝生流職分金森良充師並びに山崎健師を招聘し、素謡「翁」と舞囃子「高砂」に出演を頂き、天下泰平・国土安穩を祈り、五十周年記念を祝うことになっておりますのでご高覧頂ければ幸いです。

また この五十年、能楽全体が愛好者の減少という変化の中にあります。『会員の技能の向上と親睦を図り、結束して宝生流の拡大発展に寄与する』という本会の目的に向け、今後益々関係各位のご厚誼ご指導並びに会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

平成三十一年二月吉日

宝生流教授囑託会 高岡支部

支部長 寺田 茂

新春記念謡曲大会番組

第一部

素 謡

シテ寺下哲夫

竹生島

ツレ黒坂正之

ワキ堀田定廣

五頁ワキ「いかにこれなる」
終り迄

シテ奥 和義

巴

ワキ可西正親

十頁ワキ「露を片敷く」
終り迄

シテ五十嵐かず子

小 督

小督牛林正江

侍女金森志津子

六頁小督「げにや一樹の」
十九頁地「涙なりけれ」迄

シテ谷村 勇

鉄 輪

ワキ三本松誠身

九頁ワキ「いでいで」
終り迄

ワキツレ才田幸廣

仕 舞

花 筐

クルイ 黒谷峻一

邯 鄲

キリ 瀬賀智香枝

素 謡

シテ原 保

三井寺

ワキ坂井貞弘

四頁ワキ「是は江州」
十八頁地「明かさん」迄

ワキツレ大野 尚

吉田俊平
高岡誠治
山本磯明
向山 登

島田 徹
釣谷清治
坂井貞弘
才田幸廣

瀬賀智香枝
車 仲代
在田鶴子
保井昌子

黒坂正之
伊勢 毅
清原清秀
堀田定廣

在田鶴子
車 仲代
瀬賀智香枝
金森志津子

牛林正江
車 仲代
五十嵐かず子
金森志津子

田中正則
可西正親
松本一郎
加藤日出夫
三加 進

十二時頃 休憩 (昼食)

仕舞

通小町 長田久松

高岡誠治
寺田茂
米島和秋
般若博

山姥キリ 在田田鶴子

瀬賀智香枝
車仲代
五十嵐かず子
保井昌子

鶴亀 車仲代

清原清秀
米島和秋
田中正則
三加進

素謡

シテ山本磯明

ワキ島田徹

阿漕八頁ワキ「この浦を」
終り迄

シテ加藤日出夫

ワキ竹内敬俊

朝長十九頁ワキ「借も幽霊」
終り迄

シテ中島継次

ツレ向山登
ワキ才木市郎

絵馬五頁ワキ「ふしぎやな」
終り迄

竹内敬俊
嶋原義正
野守尚次
黒谷峻一

古澤正義
寺田茂
般若博
原保

才木市郎
米島和秋
奥和義
中島継次

第二部

素 謡

翁

シテ山崎 健

千歳寺田

茂

三加進
田中正則
般若博

米島和秋
金森良充
釣谷清治

舞 囃 子

高 砂

金森良充

松本一郎
上田美雪

上田博
瀬賀尚義

才田幸廣
清原清秀
高岡誠治

伊勢健毅
山崎健
嶋原義正
車原清治

持旗、後シテ
(神舞三段)終り迄

大会終了後、三時半頃から

見所において第五十回定期総会を行います。

平成三十一年二月

総会終了後、五時半頃からホテルニューオータニ高岡に於いて
五十周年記念祝賀会を行います。

主催 宝生流教授囃託会

高岡支部

後援 高岡市教育委員会

北日本新聞社